

# 福井県 高校入試対策 社会 歴史 K-レジюме

最重要項目を精選 最小時間で最大効果

これを理解⇒整理⇒暗記すれば大丈夫！

(講義動画は各テーマ約 10 分×合計 10 回)

社会の受験勉強を可能な限り減らし、

数学の勉強時間を確保しよう！

A decorative graphic consisting of several parallel blue lines of varying thicknesses, slanted diagonally from the bottom-left towards the top-right, extending across the lower half of the page.

★使い方は講義で説明しますが、年表は覚えるために入れてはいるわけではありません。

歴史上の「理由」「目的」「影響」を理解していきましょう。

★はじめに★

せっかく覚えても、すぐに忘れてしまう…。

そんな不安を抱える受験生は多いと思います。

高校入試は範囲が広く、覚える量も多いため、忘れて不安になったり、やる気が落ちたりするのは当然です。

しかし、**不安を抱えたまま勉強しても成果は出ません。**

まず知っておいてほしいのは、「忘れるのは当たり前」ということです。

エビングハウスの忘却曲線でも示されるように、人は覚えても時間とともに忘れていきます。

**これは「頭が悪いから」でも「自分がダメだから」でもありません。**

**人間の脳の仕組みが、そもそもそうになっているだけです。**

私自身もこの性質に苦しんだ側ですが、ある日考え方を大きく変えました。

それが、**暗記で大事なものは「忘れないこと」ではなく、**

**「忘れてもすぐ思い出せる状態をつくること」だ。**という考え方です。

どんなに完璧に覚えたつもりでも、人は必ず忘れます。

だからこそ、忘れてもすぐ復元できる仕組みをつくるのが学習の本質なのです。

●そのために必要なのが「**情報の集約化**」

たとえば高校入試社会の場合、

3分野を合わせて3~5時間で全範囲を思い出せるノートを作っておけば、

本番前日に落ち着いて復習できます。

福井県の入試前日、受験生は約7時間は勉強できます。

その前日に“すべてを思い出せるノート”を持っているかどうかで、結果も当然、変わります。

私は受験期、過去問や教科書、資料集から必要な情報だけを抽出して

1冊にまとめた「**自分専用のカンニングペーパー**」を作っていました。

**試験直前はその1冊だけを徹底的に見返せばよかったです。**

**今秋の資格試験でも大量の情報を整理、集約化し、直前の暗記で得点を取りました。**

この考え方を高校受験用に落とし込んだ教材が、

『**K-レジュメ・福井県高校受験対策版**』です。

教科書・テキスト・資料・過去問から「**使う情報だけ**」を抽出し、

**短時間で一気に復元できるレジュメ** にしてあります。

だから、これだけ反復すれば十分な得点力になります。

## ●やっちはいけないこと

注意してほしいのは、真面目な人ほどやりがちなミス——  
「レジюмеにない情報をどんどん書き足してしまうこと」です。  
このレジюмеは、あえて  
「不要情報」を徹底的に切り捨てています。

苦手な人ほど情報を足してしまうと、

- ・迷いが増える
- ・理解が散る
- ・復習に時間がかかる

という悪循環に陥ります。

市販のテキストには、福井県入試で  
必要な情報と不要な情報が混在しています。  
取捨選択に慣れていない段階で情報整理をすると、むしろ効率が落ちるのです。

だからこそ、特に苦手な人ほど  
“まずはK-レジюмеに絞る”  
これが最速で得点を伸ばすルートです。  
全部を完璧に理解しようとするのではなく、  
捨てる勇気を持つことが大切です。  
このあたりは、このレジюмеをベースにした特別講義でも「断捨離の基準」を具体的にお伝えします。

## ●最終形

歴史なら、レジюмеを1時間読めば全範囲の知識がよみがえる。  
まずはこの状態を目標に反復してください。

もちろん演習（アウトプット）は必須です。  
このレジюмеを土台にして、どの問題集をどう演習し、どう復習すれば定着するの  
も特別講義で具体的に解説します。

整理 → 理解 → 暗記 → 演習 → 定着  
この流れを“仕組み化”していきましょう。

「暗記しなさい」だけで終わる無責任なアドバイスはシカトして構いません。  
正しい方法で進めれば、暗記はもっとラクに、もっと効率よくなります  
そして、このレジюмеだけでは不安な人は、  
是非、私が無料公開している特別講義も視聴してみてください。  
興味・関心・やる気を引き出せるように精一杯、話をしています。

**旧石器時代** 日本列島は大陸と陸続き→ナウマンゾウなどの大型動物渡来(長野県野尻湖) 打製石器の使用

**縄文時代**(約1万2千年前) ポイント:気候温暖化→狩猟・採集→磨製石器、弓矢の使用

- ・縄文土器の使用…縄目の文様がついた, あつてもろい土器→食物の調理や貯蔵
- ・貝塚…食べたあとの貝殻や, 食べ物ののこりかすなどを捨てた場所(大森貝塚 鳥浜…福井県)
- ・竪穴住居…掘り下げた地面に柱を立てて屋根をかけた住居→定住生活
- ・土偶…豊作などの祈りのために使用された→風習 自然崇拝
- ・三内丸山遺跡…縄文最大の集落跡(青森県)

**弥生時代**(紀元前4世紀～紀元後3世紀) ポイント:稲作の伝来→貧富の差

- ・弥生土器の使用…赤褐色で薄手でかたい
  - ・稲作とともに金属器(青銅器・鉄器)が伝わる
  - ・高床倉庫…収穫した稲を貯蔵→貧富の差へ
- リーダーの誕生→小さな集団→小さなむら→大きなむら→「くに」の誕生
- 邪馬台国 卑弥呼 魏志倭人伝

**古墳時代**(3世紀後半～6世紀) **古墳文化** 前方後円墳 はにわ

- ・大和政権の誕生…その中心となった王のことを大王という。
- ・埴輪…古墳の周囲に置かれた 2つの理由→土止め用、死者の魂を鎮める
- ・渡来人…この時代に朝鮮半島から移り住んだ人々→漢字、儒学、仏教、須恵器などを伝える

**飛鳥時代**(6世紀～710年) **飛鳥文化** 法隆寺

587 蘇我馬子が物部氏(物部守屋)を倒す

- ・崇仏論争の終了→崇仏派(仏教推進派)蘇我氏 vs 排仏派・物部氏

593 聖徳太子が推古天皇の摂政になる→蘇我馬子と協力した政治を行う

- ・冠位十二階の制定…才能や功績のある人物を役人に登用(603)
- ・十七条の憲法…役人の心構えを示す(604)

- ・遣隋使の派遣…小野妹子を隋の皇帝煬帝へ遣わす(607) ※資料も一読 日出づる処の天子、…

630 第一回遣唐使…犬上御田鍬を唐へ派遣

643 蘇我氏が山背大兄王(聖徳太子の子)を殺害→蘇我氏の独裁化

645 乙巳(いっし)の変…中大兄皇子と中臣鎌足が蘇我氏を滅ぼし、中央集権化を進める  
これ以降の改革を総称して大化の改新という

※中央集権国家を目指すとは→豪族ではなく天皇が直接的に政治を行っていくこと

公地・公民の制…豪族が支配している土地・人民を国家が支配する方針

663 白村江の戦い…唐・新羅(連合国)vs 百済・日本(百済を救済)→敗北し、新羅が統一

672 壬申の乱…大友皇子(子)vs 大海人皇子(弟) 天智天皇(中大兄皇子)の継承問題

- ・大海人皇子(弟)が勝利→勝利後、天武天皇として即位

701 大宝律令の制定…唐にならった律令に基づく国家の仕組みを完成させていく

- ・律令国家を目指す(律→刑罰・刑法/令→政治・行政法)

**奈良時代**(710年～794年) **天平文化** 主に聖武天皇の時期 古事記 風土記 日本書紀 万葉集(最古の歌集)

710 平城京へ都を移す

・唐の都、長安をモデルにした 和同開珎という貨幣の鑄造 ※最古の貨幣は富本銭(天武)

・班田収授法 大宝律令(701年)の制度として確立し、本格的に運用されていく

→人々を戸籍に登録→戸籍に登録された6歳以上の全ての人々に口分田を与え、死後に返還させる

→口分田の面積に応じて「租」を負担。

723 三世一身法…新しく開墾した土地を三代まで所有することを許可

743 墾田永年私財法…開墾した土地の永久所有を許可(聖武天皇)

【影響】

・公地・公民の制の動揺 ・貴族や寺社の荘園拡大につながる

752 大仏開眼供養式(奈良の大仏完成) ※大仏造立の詔は 743年

・聖武天皇の頃は、疫病流行や政情不安→仏教により国の安泰をはかる(鎮護国家思想)

・租…稲(収穫量の3%)

・調…布または特産物

・庸…布(労役 10日のかわり)

**平安時代**(794年～1192年) **国風文化**

794 桓武天皇が都を平安京に移す (唐の都、長安をモデル)

・坂上田村麻呂を征夷大將軍に任命し蝦夷(東北地方)を討伐させる

・平安新仏教 <空海 真言宗 金剛峯寺> <最澄 天台宗 延暦寺>

894 菅原道真の提案により遣唐使廃止 →理由:唐の衰退と航路の危険性のため

935 平将門の乱(関東地方)

939 藤原純友の乱(瀬戸内海) →武士団の形成【武士の台頭】

1016 藤原道長が摂政となる(関白にはならず)

天皇の摂政や関白となり政治を主導(摂関政治)

1017 藤原頼道が摂政となる(その後関白にも)

→摂政…天皇が幼少 or 女性 →関白…天皇が成人後

1051 前九年合戦

<この平安時代・中期の文化を国風文化という>

文学の発達 かな文字 枕草子 源氏物語 古今和歌集

貴族住宅の建築様式 寝殿造

平等院鳳凰堂 浄土信仰の広がり 浄土信仰とは、念仏を唱えて阿弥陀仏如来にすがれば、

死後苦しみのない極楽浄土に生まれ変われるという教え ※仏>神 本地垂迹説

→日本の神々は仏が仮の姿で現れたもの

1086 白河上皇が院政を始める

1156 保元の乱 →鳥羽院の後継争い

1159 平治の乱 →源氏と平氏の覇権争い→平氏の勝利【平家繁栄の時代】へ

1167 平清盛が天皇より太政大臣に任命される 武士でありながら貴族的な性格が強かった

・日宋貿易を始める…大輪田泊(神戸)の修築 輸入品 宋銭 陶磁器 輸出品 金 刀剣

・厳島神社 瀬戸内海航路の安全をはかるため

1185 壇ノ浦の戦い…源義経が壇ノ浦(山口)で平家を滅ぼす

源頼朝の守護・地頭設置 「義経追討の名目で設置」

## 鎌倉時代(1192年～1333年) 鎌倉文化

1192 源頼朝が鎌倉幕府を開く 本格的な初の武家政権

- ・国ごとに**守護…(警察)** ・**荘園・公領ごとに地頭…(年貢の徴収)**
- ・家来(御家人)との関係…**御恩と奉公の関係による主従関係**→土地を介しての主従関係=封建制度の成立
- ・将軍の補佐として**執権**を置く→北条氏が世襲(執権政治) **その他 六波羅探題 政所 侍所 問注所**

### 1221 承久の乱

- ・朝廷 後鳥羽上皇による倒幕計画 (源氏の将軍が3代で途絶えたこともあり)
- ・幕府側の勝利 →再び倒幕を企てないよう、**六波羅探題を設置し朝廷を監視し、西国を統轄する**

1232 三代 執権 **北条泰時**が御成敗式目を定める

- ・裁判の基準を明確化、武家社会の慣習をもとに作成 ※あくまでも御家人にのみ適用

1274 文永の役…高麗の兵を従えて、元軍が集団戦法、てつほう(火薬の武器)を用いて日本へ攻撃

→撃退 日本側の政治の中心 **執権 北条時宗** その後、博多湾沿岸に**石塁**を築く…元軍の再来に備えて

1281 弘安の役…元軍再来→再び撃退成功 この二度にわたる蒙古襲来を「**元寇**」という

1297 永仁の徳政令を出す…御家人の借金帳消しにする

**鎌倉文化** 武士を中心とした素朴で力強さを感じさせる文化 軍記物 平家物語 建築 金剛力士像

<鎌倉新仏教> 人物(教え)

- ① 法然(浄土宗) ② 親鸞(浄土真宗) ③ 一遍(時宗) ④ 日蓮(日蓮宗) ⑤ 栄西(臨済宗) ⑥ 道元(曹洞宗)

※鎌倉幕府はなぜ滅亡したのか…

元寇は日本に攻めてきた元軍を撃退する戦いだったため、領土の獲得ができず、御家人に十分な恩賞を与えられなかった。これにより御家人の不満が高まり、鎌倉幕府の弱体化につながった。

**室町時代**(1338年～1573年) **北山文化** 足利義満の頃 **東山文化** 足利義政の頃 銀閣・書院造

1334 鎌倉幕府を倒した**後醍醐天皇**が**建武の新政**を始める→わずか2年で終了→公家中心の政治に対する不満

1338 足利尊氏が征夷大将軍に任命され室町幕府開く【北朝】 後醍醐天皇は吉野に朝廷【南朝】 →南北朝時代

1392 三代将軍 **足利義満**が南北朝を統一

- ・将軍の補佐として**管領**を置く 他 侍所、政所、問注所は鎌倉幕府のしくみを引き継ぐ
  - ・明との貿易を行う**日明貿易(勘合貿易)**…勘合を使用→海賊(倭寇)対策 ※朝貢形式であった
- 輸入品 銅銭(明銭) 陶磁器 生糸 輸出品 銅 硫黄

1428 正長の土一揆

1467 応仁の乱…八代将軍 **足利義政**の将軍の後継者問題

- ・幕府および将軍の権威が失墜 →戦国時代へ →**下剋上**の風潮が生まれた
- 下剋上とは、実力のある者が上の身分の者を倒して、その地位を奪っていくこと

1485 山城の国一揆(~93)

1488 加賀の一向一揆(~1580)

<テーマ 室町時代 産業の発達> できたら鎌倉時代と比較するといいい項目です。

農業技術の進歩	鎌倉時代からはじまった二毛作が各地に普及していく 堆肥の使用
工業の発達	西陣(京都)の絹織物 瀬戸(愛知)の陶磁器 越前(福井)の和紙
貨幣経済の浸透	中国から輸入されている明銭の使用 定期市などにも ※鎌倉時代は宋銭を使用
商工業の成長	<b>金融業の土倉や酒屋 座</b> という同業組合→営業を独占していける
交通の発達	<b>馬借</b> …陸上輸送 問(問丸)…海上輸送 関所…通行税をとる(交通の要所に)

## 戦国時代(一つの区分として応仁の乱以降)

1543 種子島に漂流したポルトガル人が鉄砲を伝える

1549 イエズ会のザビエルが鹿児島に到着、キリスト教を伝える

この後、ポルトガル商人が来航→南蛮貿易 輸入品:鉄砲、火薬、ガラス、活版印刷など 輸出品:銀

<戦国大名> 分国法(領国内でのきまり、独自の法律) 城下町の形成

## 安土桃山時代 安土桃山文化 屏風 狩野永徳

【織田信長】

1560 桶狭間の戦い…有力大名の今川義元を破る

1573 足利義昭を京都から追放→室町幕府の終了

1575 長篠の戦い…鉄砲を有効に使い勝利

1582 本能寺の変にて自害

【豊臣秀吉】

1582 山崎の合戦…明智光秀を討つ

1585 天皇から関白、翌年太政大臣に任命される

1592 文禄の役

1597 慶長の役

### ★信長の政治★

・滋賀県に巨大な天守閣を持つ安土城を築く

・楽市・楽座→商売を独占していた座を廃止し、市場での  
税を免除して、新しい商工業者を支援していく政策

### ★秀吉の政治★

・予想される収穫量を石高で表した太閤検地

・一揆を防ぐため、武器を没収する刀狩を実施  
…これら二つの政策により兵農分離が進む

・バテレン追放令…日本から宣教師を追放

## 江戸時代(1600年~1867年) 文化は別途

1600 関ヶ原の戦い…徳川家康が石田三成ら西軍を破る

1603 徳川家康が征夷大将軍に任命され江戸幕府を開く

・幕府の直接の支配地→幕領 ・大名の領地→藩 ◎幕府と藩が全国の土地と人々を支配するしくみ

1615 大坂夏の陣→豊臣氏の滅亡

⇒幕藩体制

家康の時、東南アジアとの貿易 = 朱印船貿易が本格化 輸入品:生糸 輸出品:銀

1615 武家諸法度…大名を統制 禁中並公家中諸法度…朝廷を統制

1635 三代将軍徳川家光が武家諸法度に参勤交代を追加する

※参勤交代…大名は1年おきに江戸と領地に住み、妻子は人質として江戸に常住することを義務づける

※参勤交代の制度内容、この成立の理由、この制度を実施した結果

### ★鎖国までの流れ★ キリスト教の禁止を徹底する

1624 スペイン船の来航禁止

1635 日本人の海外渡航と帰国の全面禁止 朱印船貿易も禁止

1637 島原・天草一揆…天草四郎がおこした一揆。以後、禁教と鎖国がさらに強化

1639 ポルトガル船の来航禁止 南蛮貿易も禁止

1641 オランダ商館を長崎の出島へ→(事実上の)鎖国の完成 ※4つの窓口

<寺請制度> 人々は宗門改帳に登録 葬式も寺院で行われる

対馬藩 ・松前藩  
長崎 ・薩摩

1680 五代将軍に徳川綱吉が就任

・社会の秩序の重視 主従関係 上下関係を重視した政治(朱子学)

・生類憐みの令…極端な動物愛護政策

<正徳の治>第六代(家宣) 七代(家継)将軍の際の改革

・儒学者新井白石が中心 幕府の財政を立て直すため 金・銀の海外流出を防ぐために長崎貿易を制限する

<江戸時代文化①>この頃 元禄文化 上方中心の町人文化 近松門左衛門(人形浄瑠璃) 井原西鶴(浮世草子)

1716 八代将軍に徳川吉宗が就任〈享保の改革〉

- ・公事方御定書…裁判の基準を明確化(対 庶民に対しても) ・目安箱を設置…民衆の意見を聞く
- ・上げ米の制…参勤交代の簡素化 ・儉約令

1772 〈田沼意次の改革〉 中心人物:田沼意次(第十代(家治)将軍のとき)

- ・株仲間を奨励→特権与える代わりに営業税を徴収 ・長崎貿易の奨励

1787 〈寛政の改革〉 中心人物:松平定信(第十一代(家斉)将軍のとき)

- ・困い米の制…凶作・飢饉に備えて米を蓄えさせる ・寛政異学の禁

※打ちこわしと百姓一揆の違い

打ちこわし 都市の貧しい人々 都市(おもに江戸や大阪など)

ききんなどで米が不足し、商人が米を買い占めたことによってつり上がった

米価を引き下げなどのために米商人らを襲った

百姓一揆 百姓 主に農村 年貢(ねんぐ)の減免や、不正をはたらく村役人を交代させるなどのため  
領主に直訴したり、村役人らを襲った

1792 ラクスマン(ロシア)が根室に来航

1825 異国船打払令…日本に接近してくる外国船を打ち払うように命じる

1837 大塩の乱…大坂町奉行 大塩平八郎による乱

<江戸時代文化②>化政文化 江戸中心の庶民文化 葛飾北斎(富嶽三十六景) 歌川(安藤)広重(東海道五十三次)

教育の普及 :藩校 :寺子屋

新しい学問 :本居宣長(古事記伝) :蘭学 杉田玄白・前野良沢 解体新書 :伊能忠敬 正確な日本地図

芸能 :歌舞伎 落語 大相撲など庶民の娯楽に 他の娯楽 花火 伊勢参り 富士山参詣(観光)

1841 〈天保の改革〉 中心人物:水野忠邦(第十二代(家慶)将軍のとき)

- ・株仲間を解散…物価引下げを目指す ・人返しの法…江戸に出稼ぎにきた百姓を強制的に農村に帰す
- ・上知令…江戸 大阪周辺の直轄化→大反対→僅か二年で終了

1853 ペリー(米)が浦賀に来航→一時帰国

1854 再びペリーが来航→日米和親条約【開国】…下田と函館を開港

1856 ハリス(米)が下田に来航→朝廷は条約締結を拒否

- ・大老 井伊直弼が朝廷の許可なく、日米修好通商条約を締結
- ・5港(函館・横浜・長崎・新潟・兵庫)開港(下田は閉港)
- ・日本にとって不平等条約→関税自主権がない、領事裁判権を認める

※領事裁判権…外国人が日本で罪を犯しても、日本の法律では裁けず、その国の領事が裁判をするという権利

※関税自主権…外国からの輸入品にかかる税金(関税)の税率を決められる権利

※尊王攘夷…天皇を尊び、外国勢力を排除しようとする考え方 この考え方が広がっていく

1863 薩英戦争…薩摩(鹿児島)がイギリスから攻撃を受ける

1864 下関戦争…長州(山口)がアメリカ・フランス・オランダ・イギリスの4か国から下関の砲台を占拠される

1860 桜田門外の変…井伊直弼が暗殺される

1866 薩長同盟…坂本竜馬の仲介 薩摩藩&長州藩 →「倒幕」を目指す

1867 大政奉還…十五代将軍 徳川慶喜が政権を朝廷に返上→江戸幕府の終了【倒幕】

王政復古の大号令…朝廷が天皇中心の政治に戻すと宣言

## 明治時代(1868年～1912年)

- 1868 戊辰戦争(～69)…旧幕府軍 vs 新政府軍  
五箇条の御誓文…新しい政治の方針を定める →福井出身の由利公正が原案を作成
- 1869 版籍奉還…藩主に版(土地)と籍(人民)を返還させる→効果なし
- 1871 廃藩置県…藩を廃止し県を置く  
→新たに中央から各県に県令(県知事)を派遣 解放令…身分の差別の撤廃  
岩倉使節団…岩倉具視を団長(1873年まで)→欧米の政治、産業を視察、条約改正の予備交渉(失敗)
- 1872 学制公布…現在に至る学校制度(小学校～大学制度)の基礎づくり  
満6歳になった子どもすべてに小学校の義務教育を受けさせる義務
- 1873 地租改正…土地所有者に地券を交付し、地価の3%を現金で納めさせる→後反対運動により2.5%へ  
徴兵令…満20歳の男子の兵役義務を定める
- 1874 民撰議院設立の建白書  
・政府を去った板垣退助が政府に提出  
・大久保利通らの専制政治(藩閥政府)を批判 ・国会の開設要求
- 1877 西南戦争…西郷隆盛による明治政府に対する反乱

### ★対アジア外交★

- 1871 日清修好条規…清との平等な条約
- 1873 征韓論争→朝鮮への対応をめぐり、明治政府が二つに分裂
- 1875 樺太・千島交換条約…ロシアとの領土確定条約
- 1876 日朝修好条規…朝鮮との不平等条約
- 1879 琉球処分…琉球藩を廃止し沖縄県を設置

- 1880 国会期成同盟の結成…全国の代表者が大阪に集まる
- 1881 国会開設の勅諭…10年後国会を開設することを約束  
・板垣退助→自由党 ・大隈重信→立憲改進黨 それぞれ国会開設に備えて政党を結成する
- 1885 内閣制度ができる…初代首相 伊藤博文
- 1889 大日本帝国憲法発布 (総理大臣は黒田清隆)  
・2月11日発布 ・天皇主権→国民は臣民とされる  
・翌年教育勅語発布…忠君愛国の教育目標
- 1890 第一回衆議院議員総選挙  
・選挙権の資格条件→直接国税を15円以上納める満25以上の男子

### ★条約改正までの流れ★

- (1)岩倉使節団(1871～)→大失敗
- (2)外務卿井上薫の欧化政策  
・鹿鳴館での舞踏会→失敗  
・ノルマントン号事件(1886年)→改正求める世論の高揚
- (3)1894 陸奥宗光が領事裁判権の撤廃に成功(日清戦争前)
- (4)1911 小村寿太郎が関税自主権の回復に成功

- 1894 甲午農民戦争(東学党の乱) 【原因】…朝鮮半島にて政治改革運動、日本人排斥運動  
日清戦争
- 1895 下関条約 【内容】・清は朝鮮国の独立を認める  
・遼東(りょうとう)半島、台湾、澎湖(ほうこ)諸島を日本へ譲る  
・賠償金(二億両テール)の支払い →この賠償金にて八幡製鉄所を建設する  
→三国干渉  
※下関条約の内容を知ったロシア(中心)、フランス、ドイツが遼東半島の返還を要求してくる
- 1899 義和団事件…清における日本・西洋諸国の排斥運動 →日本・列強8か国の連合で義和団事件を抑える
- 1902 日英同盟 →ロシアの南下政策に対抗するため(利害が一致する)
- 1904 日露戦争
- 1905 ポーツマス条約 【内容】・旅順、大連の租借権 ・南樺太を譲渡する ・韓国における日本の優越権を認める  
※ロシアからの賠償金は得られず→日比谷焼き打ち事件へ
- 1910 韓国併合 朝鮮半島の植民地化 韓国統監府から朝鮮総督府へ

★日本の産業革命の流れ★

- 1882 大阪紡績会社の設立 製紙・紡績業などの軽工業スタート
- 1897 綿糸の輸出量が輸入量を上回る
- 1901 八幡製鉄所の操業開始 重工業部門の産業革命スタート  
筑豊炭田(福岡)の石炭と中国からの輸入した鉄鉱石  
→社会問題の発生 長時間労働や公害 足尾銅山鉱毒事件

●大正時代(1912年～1926年)

- 1912 日本では「第一次護憲運動」が起こる→民主主義による政治を求める→この風潮を大正デモクラシー  
※吉野作造による「民本主義」 民本主義とは、天皇主権の中で民主主義に基づく政治を行うべきという論
- 1914 第一次世界大戦 【原因】…サラエボ事件 オーストリアの皇太子がセルビア青年(ロシア側)に暗殺される  
・三国協商(イギリス・フランス・ロシア)VS 三国同盟(ドイツ・オーストリア・イタリア)  
・中国に二十一か条の要求(1915)  
・ロシア革命(1917) レーニンによる社会主義国家の設立→ソビエト社会主義共和国連邦  
→シベリア出兵 列強連合による武力干渉 →日本国内では、大商人による米の買い占めが行われる
- 1918 ベルサイユ条約  
・世界平和→国際連盟へ アメリカ大統領 ウィルソンによる「民族自決の原則」  
※日本国内では「米騒動」 米価の急騰に対する米の安売りを求める抗議運動  
寺内内閣から、日本初の本格的な政党による内閣(平民宰相) 原敬内閣の成立
- 1919 ワイマール憲法(ドイツ) →世界で初めて社会権が明記された民主的な憲法  
三・一独立運動(朝鮮) 日本への抗日運動  
五・四運動(中国) 山東省などの返還をパリ講和会議で拒絶されて抗議→日本への抗日運動
- 1921 ワシントン会議 →ワシントン海軍軍縮条約の締結 軍縮への動き(主力艦の保有を制限していく)
- 1923 関東大震災 大戦景気から一転、深刻な不況期に入っていく
- 1925 「第二次護憲運動」の広がり →普通選挙法・治安維持法の制定  
・選挙権の資格条件→満 25 以上の男子全員

## 昭和時代(1926年～1989年)

- 1929 **世界恐慌** →景気が急激に悪くなり、経済や社会が大混乱した(ニューヨーク株式市場での株価大暴落)
- ・**ニューディール政策(米)** → ローズベルト大統領の政策 政府の権限をもって経済を立て直す
    - 大規模な公共事業をおこし、国民に仕事を増やし、失業者を減らし、国民の購買力を高めていく
  - ・**ブロック経済(英・仏)** →自国と植民地の貿易を強化し、それ以外の国に対しては高い関税をかけていく
    - 保護貿易の強化**(自由貿易の解消)→国際協調ではなく、国家間の対立が深まっていく
- <ソ連の状況> →5か年計画による計画経済を進め、順調に経済を成長させていく
- ★植民地や資源を持たない国 代表 ドイツ イタリア 日本
- ドイツ イタリア→**ファシズム(対外侵略を行う独裁体制)をすすめる**。民主主義や個人の人権の否定
- 代表的なものがドイツ・ヒトラー(ナチス党) イタリア・ムッソリーニ(ファシスト党) →**類義語 全体主義**
- <日本→軍国主義 以下が日本の流れ>
- 1931 満州事変 → 国際連盟(リットン調査団)により、満州国否認(1932)
- 1932 **五・一五事件** → 海軍青年将校により犬養毅が暗殺される 以後、政党出身の内閣総理大臣ではなくなる
- 1933 国際連盟脱退 → 以後、国際的な孤立を深めていくことになり、ドイツ イタリアと接近していく
- 1936 **二・二六事件** →陸軍青年将校(しょうこう)らが首相官邸や警視庁などを襲い、大臣を死傷させた
- 1937 日中戦争…【原因】盧溝橋事件 この戦争は長期化していくことに
- 1938 **国家総動員法** 政府は戦争のために必要な物資や労働力を議会の承認なしに動員する権限をもつ
- 日中戦争が激化している最中、ヨーロッパでは…
- 1939 独ソ不可侵条約→第二次世界大戦に備えたドイツの作戦 ドイツはロシアと手を結ぶことに
- 第二次世界大戦 【原因】…ドイツのポーランド侵攻で開戦
- イギリス&フランス VS ドイツ ドイツはヒトラーのもと当初は優位に戦争を進める…
- その後、ドイツとソ連の関係が悪化し、 連合国(イギリス ソ連 アメリカ)VS 枢軸国(独・伊・日)の構図へ
- 1940 **日独伊三国同盟** →ファシズム諸国(独・伊・日)による軍事同盟
- その頃、日本は<ABCD包囲陣>によって、石油などの重要物資の輸入に厳しい制限がかかってくる
- 政党をすべて解散し、**大政翼賛会**の結成、軍国主義を高めていくことに
- 1941 日ソ中立条約を締結
- 太平洋戦争に突入
- ・ハワイの真珠湾を奇襲攻撃
  - ・ミッドウェー海戦の敗北により日本の攻勢は止まる
  - ・学徒出陣 ・疎開 ・東京大空襲 ・沖縄戦(地上戦)
- 学徒出陣→戦局が悪化し、徴兵をまぬがれていた大学生の多くが戦場に動員されていく
- 1945 原子爆弾を投下される(広島・長崎)
- ポツダム宣言受諾** 無条件降伏を受け入れる
- GHQによる戦後改革(日本の非軍事化・民主化)
- ・極東国際軍事裁判 →戦争指導者の逮捕と戦争の責任追及
  - ・**財閥解体** →日本経済を支配してきた「財閥」を解体し、巨大企業が分割される→経済の民主化
  - ・**農地改革** →地主の土地を政府が強制的に買い上げ、小作人に安く売りわたし、自作農を増やしていく
    - 農業の民主化 小作人⇔地主の関係を改善 自作農(自分の土地を耕作する農家)を増やす
  - ・男女普通選挙 条件→女性の参政権を認め、満20歳以上の男女となる 女性議員の誕生
- 1946 日本国憲法の制定(国民主権・基本的人権の尊重・平和主義)

★冷戦のスタート(1950年代～)

資本主義(米中心・NATO・西側) vs 社会主義(ソ連中心・ワルシャワ条約機構・東側)

西ドイツ

東ドイツ

台湾

中華人民共和国

大韓民国

朝鮮民主主義人民共和国

1950 朝鮮戦争

・特需景気 ・自衛隊の創設(1954)

1951 サンフランシスコ平和条約

日米安全保障条約→また日本が戦争するかもと反対勢力(革新勢力)が現れる

1955 バンドン会議(アジア・アフリカ会議)→アフリカの年(1960年)

1956 **日ソ共同宣言**

・ソ連との国交が回復 ・**日本の国連加盟、国際社会復帰**

1960 安保闘争

・安保条約が「日本を戦争に巻き込む危険がある」という批判が「革新勢力」を中心に出る

1960 所得倍増計画

1964 東海道新幹線開通→東京オリンピック開催

1965 日韓基本条約

1967 **公害対策基本法(公害問題が顕在化)**

1971 **環境庁設置**

1972 **日中共同声明**

・中国(中華人民共和国)との国交正常化

沖縄返還(前首相佐藤栄作の努力→返還は1972年で首相は田中角栄

佐藤栄作が返還交渉を進めたので「返還の基礎を作った」

1973 石油危機(オイルショック)→第四次中東戦争の影響で石油価格が大幅に上昇

「狂乱物価」→物価高騰のこと

1978 日中平和友好条約

1989 ベルリンの壁崩壊(翌年ドイツ統一)

冷戦の終結が宣言(マルタ会談)

平成スタート

1991 ソ連の解体

1993 細川非自民連立内閣誕生

1995 阪神・淡路大震災

1997 京都議定書採択

2007 世界金融危機(リーマンショック)

2011 東日本大震災

2020 新型コロナウイルス流行